

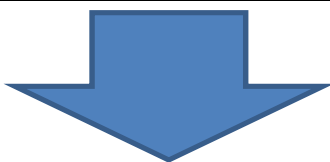
令和3年度 授業改善推進プラン

台東区立台東育英小学校

○ 教科【音楽科】

1 児童の状況及び実態

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、歌唱及びリコーダー、鍵盤ハーモニカの活動ができていない期間が続いているが、全体的に概ね意欲的に学習に取り組んでいる。
- ・めあてを理解し、よりよい表現をするために努力する姿がみられる児童もいる。
- ・技能面では個人差が大きく、基礎基本を充実させていく必要がある。



2 指導についての課題

【知識及び技能】

- ・知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する時間が不十分である。
- ・歌唱・器楽において、基礎的な技能の習得に重点を置いた指導を行う機会が不足している。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・自らの音楽表現に対する思いや意図を持ち、それらを伸長させる活動時間が不十分である。
- ・対話的・協働的活動において、児童の話し合いのめあてや手順や内容を明確化する必要がある。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・思いや意図を持ち、よりよい表現になるよう試行錯誤しながら、学びに向かわせる機会が不足している。



3 授業改善に向けての具体的な方策

【知識・技能】

- ・器楽では、曲想を生かした表現の工夫ができるよう奏法の基礎基本を徹底し、全体の響きや音のバランスを感じさせる活動に重点的に取り組む。
- ・音楽を形づくっている要素を感じ取り、曲の特徴や構造に気を付けて表現する活動を計画的に実施する。

【思考・判断・表現】

- ・曲想にふさわしい表現を工夫できるよう、音楽の情景や歌詞の内容、演奏について話し合う活動を継続的に行う。
- ・互いの歌声や音を聴き合う活動を通して、友達の表現のよさや工夫を感じ取り、自らの表現に生かす活動を取り入れる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・友達と協働して音楽活動をする楽しさを味わい、様々な音楽に親しませる指導を実践する。
- ・個に応じた指導を充実させることで、全ての児童の達成感を味わわせる。

